

## 2022 年 4 月より順次、全国のセブン-イレブンへ拡大 植物由来の素材を 30% 配合したカトラリー導入 ～石油由来のプラスチックを 30% 削減～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、4 月より施行される「プラスチック資源循環促進法」の対応として、植物由来（バイオマス）の素材を 30% 配合したスプーンやフォーク等、環境配慮型カトラリーを、4 月 1 日（金）より順次、全国のセブン-イレブンに導入いたします。

セブン-イレブンではこれまで、不要なスプーンやフォーク等のカトラリーの配布抑制として、店舗でのお声がけを実施するとともに、沖縄県内の全店舗（112 店：2022 年 1 月末現在）では、先行して植物由来（バイオマス）素材を 30% 配合したカトラリーを導入しております。今回の法律施行に基づき、お客様に対しカトラリー類の要・不要の意思確認をより強化するとともに、沖縄県で導入している植物由来（バイオマス）の素材を配合したカトラリーを全国の店舗に拡大することで、石油由来のプラスチック 30% 削減を目指し、CO2 削減にもつなげてまいります。4 月 1 日（金）より首都圏の約 500 店舗より導入を開始し、今夏までに全国へ拡大する予定です。

セブン-イレブンは、カトラリー類に限らずプラスチック対策として、新たな素材の検討をはじめお客様、加盟店様のご理解とご協力のもと、更なる石油由来のプラスチック製品の削減に取り組んでまいります。

### 植物由来（バイオマス）の素材を 30% 配合したカトラリー



パッケージには、「環境にやさしい植物由来の原料を配合しています」を記載

### <ご参考>

セブン&アイ・ホールディングスでは、グループで取り組む環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を策定し、プラスチック対策の目標として、“プラスチック製レジ袋の使用量”を 2030 年までにゼロに。“オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・リサイクル素材・紙、等）”を、2030 年度までに 50%使用、2050 年までに 100% 使用を目指す姿と定め、様々な取り組みを推進しています。

### これまでの「プラスチック使用量」「廃プラスチック」削減の取り組み（一例）

#### ■2019 年 6 月

「完全循環型ペットボトル」を採用した「一（はじめ）緑茶」の発売以降、同シリーズで 7 アイテムまで拡大



#### ■2019 年 11 月

「セブンカフェ」ストローを生分解性素材「Green Planet™」製、紙製（FSC 認証）に切り替え

※2022 年 3 月末時点で、全て「Green Planet™」製を採用予定



#### ■2019 年 11 月

小容量惣菜「カップデリ」シリーズのプラスチック使用量削減と長鮮度化を実現（プラスチック製の上蓋をトップシールに変更）



#### ■2020 年 3 月

「セブンプレミアム カフェラテ」シリーズのプラスチック使用量削減（フィルム排除）



#### ■2020 年 6 月

「チルド弁当」定番 4 種の本体容器を紙化以降、カテゴリー内で使用拡大



#### ■21 年 6 月

「手巻おにぎり」の包材を薄肉化、印字にはライスインキを使用



以 上

明日にいいこと。つなげる、つづける。



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、全てのステークホルダーの皆様とともに取り組んでまいります。